

氏名	辻 治 憲
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 9 8 号
学位授与の日付	昭和39年12月 7 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	抑うつ状態における間脳一下垂体—副腎皮質系機能に関する研究
論文審査委員	教授 奥村 二吉 教授 小坂 淳夫 教授 福原 武

学 位 論 文 内 容 要 旨

Koch & Holtorff の変法並びに Silber Porter の変法により，通常人40例，抑うつ患者28例の尿中 17-Ketosteroid (17-KS)，17-Hydroxycorticoid (17-OHCS) 総量，遊離型，結合型1日排泄量を測定した結果，うつ状態では男子のみ 17-KS が減少し，遊離型 17-OHCS は男女共増加して，結合型が減少し，治療により軽快した5例では 17-KS が増加して，17-OHCS 遊離型は減少し，結合型が増加して正常値に近付くことを認めた。次に Nelson Samuels 及び Bongiovanni の方法により健常人22例，抑うつ状態患者22例の血中 17-OHCS 総量，遊離型，結合型を測定して，抑うつ状態においては総量，遊離型は増加し，結合型は正常群と大差ないが，結合型と遊離型の比が著明に縮小しており，治療後軽快した4例は正常値に近付くことを認めた。これらの値と分裂病の場合を比較検討し，尿中値と血中値が平行しないことの間脳下垂体副腎皮質系の役割とうつ病の病因などについて考察して新知見をえた。

第I編 尿中 Steroid 像について

昭和38年6月30日，岡山医学会雑誌 第75巻，第4，5，6合併号 431頁掲載

第II編 血中 Steroid 像について

昭和38年6月30日，岡山医学会雑誌 第75巻，第4，5，6合併号 447頁掲載

論文審査の結果の要旨

辻治憲提出の「抑うつ状態における間脳一下垂体一副腎皮質系機能に関する研究」なる2篇より成る論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

Koch & Holtorff の変法並びに Silber Porter の変法により、通常人40例、抑うつ患者28例の尿中 17-Ketosteroid (17-KS), 17-Hydroxycorticoid (17-OHCS) 総量, 遊離型, 結合型 1日排泄量を測定した結果, うつ状態では男子のみ 17-KS が減少し, 遊離型 17-OHCS は男女共増加して, 結合型が減少し, 治療により軽快した5例では 17-KS が増加して, 17-OHCS 遊離型は減少し, 結合型が増加して正常値に近付くことを認めた。次に Nelson Samuels 及び Bongiovanni の方法により健常人22例, 抑うつ状態患者22例の血中 17-OHCS 総量, 遊離型, 結合型を測定して, 抑うつ状態においては総量, 遊離型は増加し, 結合型は正常群と大差ないが, 結合型と遊離型の比が著明に減少しており, 治療後軽快した4例は正常値に近付くことを認めた。これらの値と分裂病の場合を比較検討し, うつ状態の corticoid pattern は間脳一下垂体一副腎皮質系の全体を含めた異常が考えられると述べた。

以上の通り本論文は新しい知見に富み, 学術上有益であり, 著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。